

ひまわりと農業のまち

北海道

北竜町



で農業を

はじめよう

『北竜町』で農業をはじめよう！！

北海道空知地方北西部に位置する『北竜町』は、人口約1700人の本当に小さな町です。

その中には日本最大級のひまわり畑、豊かな山々、清らかな清流、そして先人達による確かな経験と知識に基づく安心安全な農業が営まれています。

小さなまちですが、役場や農協の人たちだけでは無く、お隣さんや近くの農家さんもきっと手を差し伸べてくれます。

農業のまちとして高齢化や後継者不足を解消するため地域のサポート体制も整えてきました。

あなたも北竜町で農業をはじめてみませんか。

じっくりと研修に励み

時間をかけて伝統ある作物と向き合う

のどかな田園風景の中、新緑の山々、なだらかな丘陵、自然に抱かれ、四季を感じながら「親方」と二人三脚で汗を流し、作物と向き合っていく。

日々の見回りや、虫や病気とのたたかい、多くの苦難がありますが、一年の仕事の実りである収穫の時期は感動も一塩です。



人と人のつながりが導いてくれる

農作業の合間におしゃべりしたり、手伝ったり、手伝ってもらったり。

小さな町ならではの暖かな人々があなたを待っています。

地域のみんなであなたの新規就農をサポートしていきます。

『北竜町』の農業

北竜町は明治 26 年（1893 年）5 月、千葉県の子会社の入植を源に発したまちです。

まちは石狩中流域に位置し、西側が暑寒山脈に連なる山岳地帯、東部は雨竜川沿いの平坦地と変化の富む地形です。平坦部は肥沃な大地の恩恵を受けて、農業を基幹産業として発展してきました。

北竜町は 1990 年（平成 2 年）「国民の命と健康を守る安全な食糧生産宣言の町」を宣言。

全国に先駆けてクリーンな農業を実践し続けています。

それから 30 年以上、次世代の生産者達へ脈々と受け継がれ、全町を挙げて一貫した「安全な食糧生産」に取り組んでいます。

安心安全の『北竜町』の農作物・特産品

北竜ひまわりライス

北竜町のお米は、
化学合成農薬を 50%以上
カットして栽培している

「低農薬米」。

主な品種は「ゆめびりか」。

「ななつぼし」、「おぼろづき」など

平成 29 年には「第 46 回日本農業賞」

大賞受賞。

黒千石大豆

北海道在来種であったが栽培の難しさから 30 年以上姿を消していた「幻の大豆」。原種の発見から北海道で栽培が再開。数々の苦難を乗り越えて栽培されている。通常の大豆よりマトリウムやポリフェノール栄養価が高いのが特徴。

ひまわりメロン

青肉で糖度の高いメロン。

有機質肥料を 50%以上使い、化学肥料を抑えて栽培される。

ひまわりすいか

鮮やかな黄色の果肉が印象的な小玉スイカ。

すっきりとした甘みとシャリッとした食感を楽しめる

新規就農への道のり

北竜町で話を聞いてみたい、農業をはじめたい。
 と思いついたら下記の一例をご覧ください。
 研修、就農、その後の生活。丁寧に相談させていただきます。

就農相談

- 北竜町地域担い手育成センターに問い合わせ
- 各就農フェアへの参加・情報収集
- 北海道農業担い手育成センターにて就農相談

北竜町訪問

- 自分に合った形の就農を模索。家族にも相談。
- まずは来庁して頂き、町の農家さんを見学します

申込書提出

- 住んでみたい!と思ったら必要書類の記入(履歴書等)

選考・結果通知

1年目 農家研修

- 北竜町に移住!
- 研修計画を樹立
- 研修先農家にて農業を学んでいく

2年目 農家研修

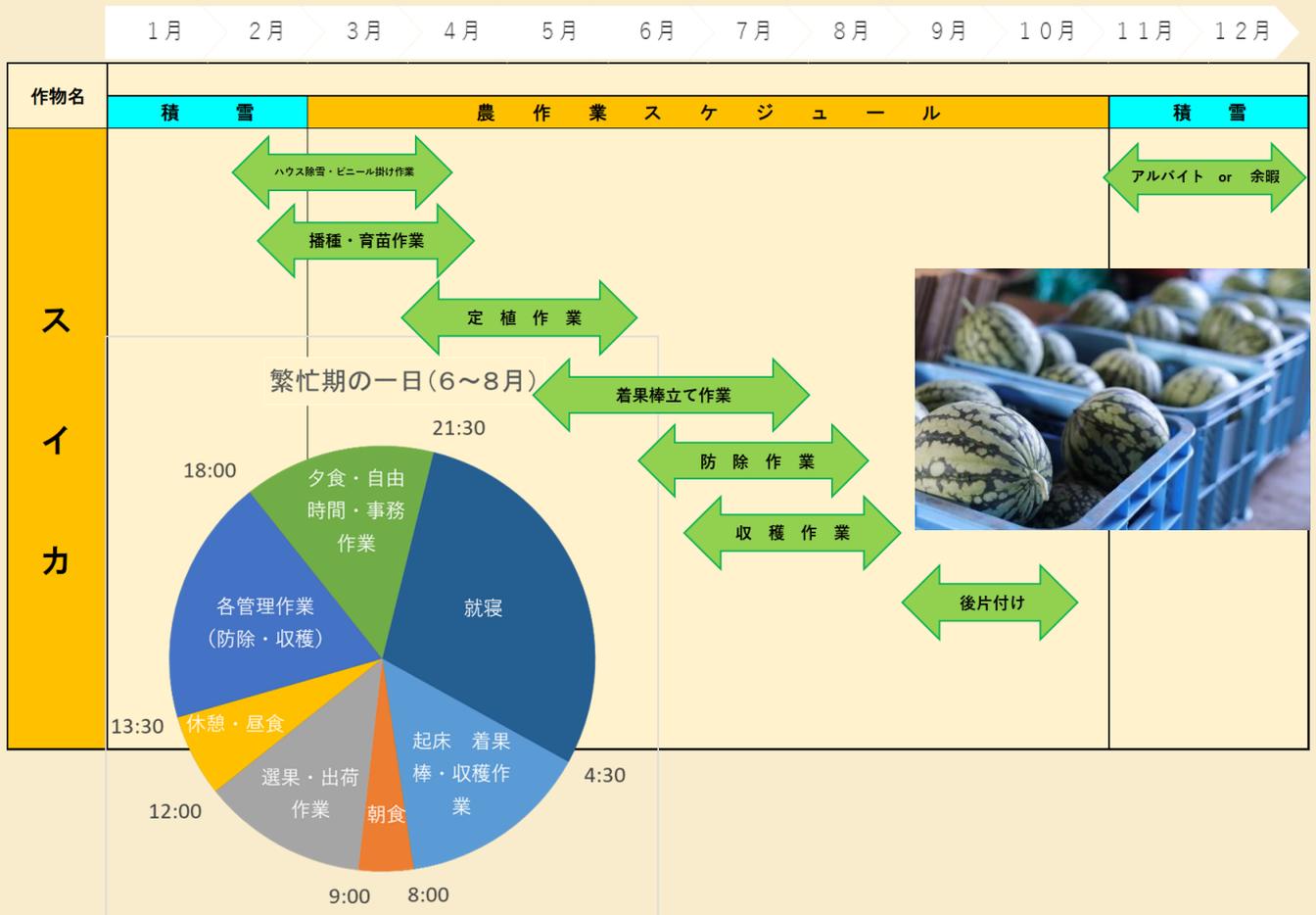
- 青年等就農資金の借入など資金繰り
- 就農予定地の調査、就農計画の策定し認定新規就農者になる

3年目 就農

- 個人経営開始または農業法人で就農
- 施設・機械の導入や農地借入

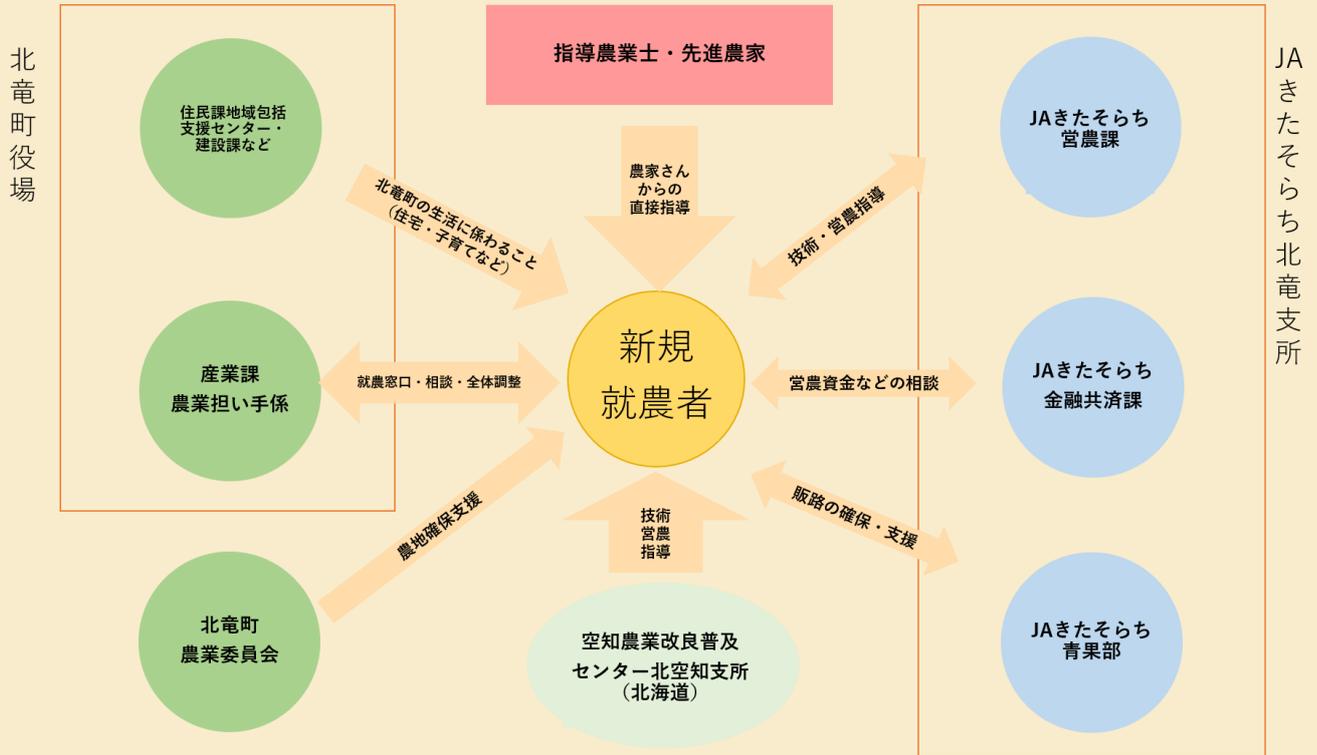
例) スイカ農家の1年

新規就農されたスイカ農家さんの一年のスケジュールです。収穫時期である夏は多忙ですが、冬に関しては比較的自由に過ごすことができます。



地域の就農サポート

北竜町、関係団体一丸となって、あなたの北竜町での就農でサポートしていきます。
きめ細やかに役場や普及センターなども見回り、相談に応じていきます。



コラム

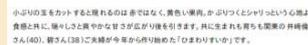
北竜町では農家さんや関係団体と一緒に、新規就農フェアへの参加やウェブサイトでの新規就農者への積極的なPRと誘致をおこなっています。
足を運んでみたり、アクセスして北竜町の魅力に触れて下さい



▲新規就農フェア出展の様子（札幌市）

マイナビ農業

▼マイナビ農業アクセスQR



新規就農者の心得

生涯の生業となり得る「農業」という職業。しかし家族を含め、「食べていく」ことを考えると単純な作業だけではなく、農業経営に対する理解や確固たる意思が必要です。

1. 「農業を職業にする」という強い信念を持った方

新たに農業という会社を興し、あなたが、労働力や資金を確保し、栽培、販売、営農を計画する「経営者」となるということです。憧れや理想だけではなく、農業で生計を立てるといふ「強い信念と情熱」、5年、10年先といった「将来への明確な目標」が大切です。

2. 年齢が概ね22歳以上50歳未満の方で心身ともに健康な方

夏の炎天下での一日作業や、繁忙期の長時間労働、風雨の中での施設管理など、「十分な体力」が必要です。また、天候だけでなく病害虫の発生など予期せぬ出来事にも「くじけない精神力と適応力」も必要です。

3. 就農までに必要な自己資金を用意できる方

作物や経営規模によっても異なりますが、営農を始めるには農地・機械・運転資金などで1,000万円以上必要です。これらは借入でも賄うこともできますが、日々生活するための費用ではありません。経営が軌道に乗るまでの期間はまとまった自己資金が必要になります。



4. 農村の一員として地域住民とのつながりを構築できる方

作物の栽培も技術と経験が必要です。農業者は、地域で共同作業や季節の行事に取組んでいます。技術の習得や伝達をうけるためにも家族単位で積極的に地域行事に参加し、より良い人間関係を築くことが大切です。

5. 農業を生業とすることに家族の協力と理解が得られる方

今までの生活と大きく変わりますので、家族の方と十分に話し合って同意を得ることが大切です。

6. 自動車免許を取得している方

北竜町に限らず北海道の農村は、車社会です。ちょっとした買物、役場・JA・病院へと自動車なしでは、非常に不便でストレスを感じると思います。なお、免許はオートマ車限定ではなく、マニュアル免許で取得する必要があります。(農作業用軽トラックは、基本マニュアル車のため)

充実の就農支援制度

北竜町では新規就農を目指す方に国の制度に加え、独自の支援制度を実施しています。

1. 住宅家賃助成金(研修中)

家賃の1/2を助成。(上限1万円)

2. 経済支援助成

取得した農用地等にかかる

固定資産税相当額を助成。

3. 経営自立安定助成金

借入した制度資金の

1/10を借入翌年度から5年間助成。(上限250万以内)

※農用地等を取得するために借入した最初の制度資金に対して助成。



4. 利子補給助成金

借入した制度資金利子を5年間交付。

借入した最初の制度資金の借入利率に対して助成。

(上限2000万円、借入利率が2%を超えた分)

住宅修繕等助成金

購入した

住宅の修繕・増築・改築等にかかる

費用の1/5を助成。

(上限250万円)

6. ハウス助成事業

メロン・すいかの栽培ハウス設置金額

80%を助成いたします。

JA 50% : 北竜町 30%

北竜町の暮らし



北竜町の生活は札幌まで車で2時間、旭川市は1時間かからない距離。スーパーやコンビニもあります。町内も広すぎず、都市とちょうど良い距離感で地方生活を満喫できます。ここでは紹介しきれませんが、人口比に対する飲食店の多さも魅力です。

温泉やアクティビティも楽しめます。



北竜町の農業とひまわり

ひまわりのはじまり

農業のまちとして紹介してきた北竜町ですが、町花「ひまわり」の紹介も欠かせません。町民みんなでひまわりを中心としたまちづくりにも取り組んでいます。

北竜町がひまわりのまちとして知られるようになった始まりは、40年以上前の1979年（昭和54年）まで遡ります。

同年7月にヨーロッパ視察研修に訪れたJA職員が旧ユーゴスラビアのペオグラード空港に上空から見た一面の食用油として栽培されていたひまわり畑の美しさに感動し、町へ報告しました。当時JA女性部にて「家族の健康を守る運動」として食生活の改善に取り組んでいたことと、ひまわり油の持つ健康への優位性が合致し、「1戸1アール」運動としてひまわりの作付けが町内ではじまりました。



北竜町ひまわりまつり

町民みんなで拓かれたひまわりの里は今、道外のみならず世界中から毎年20万人以上が訪れる北海道の夏の風物詩となりました。

毎年7月中旬から8月中旬まで行われる「ひまわりまつり」には、広大なひまわり迷路、場内をぐるりと巡る遊覧車、颯爽と駆け抜ける自転車の貸出などアタビティも目白押しです。

売店でのご当地ソフトや軽食を楽しめます。

まつり期間中は花火大会などイベントが行われ、町民だけではなく、国内外から多くの人々が訪れています。



ひまわりとまちづくり

各家庭や農家さんで作付されたひまわりは油として使われることに加え、町内を美しくしていきました。畑は少しずつ規模を大きくして行くにつれ、今までただ北竜町を通過していた人々の目にも止まるようになりました。

平成元年には国道275号線沿いの4.4haの畑を町で借受け、JA青年部や商工青年部、役場、改良区の人々が協力してトラクターで畑を耕し、種を蒔きました。こうしてできあがったのが日本最大級のひまわり畑「ひまわりの里」です。

草取りは今でも町民の皆さんに無線で呼びかけ鎌を持ち寄り行っています。町民みなさんで整備しているのが現在の「ひまわりの里」であり、たくさんの人々が訪れるまちとなりました。



ひまわり油と特産品

ひまわり栽培の発端となったひまわり油ですが、施設の老朽化などにより生産が平成15年に中止となっていました。

しかし平成28年に業界大手日清オイリオと提携を行い、特産品としてのひまわり油の再開が行われました。

現在は栽培法、搾油方法なども見直し、装いを新たに、可愛らしいパッケージで販売されています。

ひまわりとの出会いから40年たちますが北竜町の人々にとって欠かせない花なのです。

北竜町くらしの支援制度

子育ても、働きやすさも、暮らしやすさも。

北竜町では住民の皆様が安心して暮らしていけるよう各種支援制度を実施しています。

	名 称	概 要
子育て 教育	安心出産サポート119	町内在住の妊婦、または里帰り出産のために一時的に町内に滞在中の妊婦 あらかじめ出産予定日や医療機関等の情報を登録しておくことで緊急搬送が必要になった時にスムーズにかかりつけ医に搬送します
	出産祝金	父親及び母親が1年以上町内に住所を有しており、出産児を6ヵ月以上養育している方へ 出産児1人につき20万円を贈呈します
	乳幼児等医療費助成	町内に住所を有する0歳～高校3年生まで（満18歳に達する年度末まで） 医療費の一部負担額を全額助成いたします
	保育料減免措置	町内住所を有し、やわら保育園に通園している保育児童の 令和4年度の月額基本保育料を無料にします
	任意予防接種費助成	インフルエンザ予防接種、おたふくかぜ、日本脳炎予防接種、妊娠を希望する夫婦の風疹予防接種費を助成します。
	入学祝金	北竜町内の小学校に入学する児童の保護者へ 小学校入学時に祝い金として5万円を贈呈します
	各種検定助成事業	漢字検定と英語検定を500円の自己負担で受験できるよう助成します。
	学校給食費助成	北竜町内の小中学校に通学する児童生徒の保護者へ 令和4年度の小中学校の給食費を全額助成します
	公設学習塾（英語）	町内の小学5・6年生と全中学生を対象に、公設学習塾を開設し、受講料を無料としています。 （※教材費1,500円の利用者負担あり）
住む	持ち家取得奨励事業	北竜町内に 住宅を新築した場合 （建築費が1千万円以上かつ、居住に要する床面積が60㎡以上） 建築代金の1/10を上限200万円まで助成します。※町並み整備建築事業/商工業元気支援応援条例と加算助成します
	中古住宅取得奨励事業	中古住宅 を購入（土地代金を含め100万円以上）し、3年以内に本町に在住することを確約できる方 購入代金の1/10を助成します （限度額100万円）
	中古住宅改修奨励事業	購入した 住宅を改修 （改修代金が100万円以上）し、3年以内に本町に在住することが確約できる方 改修代金の1/10を助成します （限度額150万円）

※令和4年度時点。変更になる場合がございます。

PICK UP くらしと子育て環境

北竜町立やわら保育園

2020年度春より開園した隈研吾設計事務所による、北海道産のカラマツ材を使用した木造のあたたかみある保育園。

木材とたくさんの明かり窓の環境でのびのびと子ども達が成長しています。



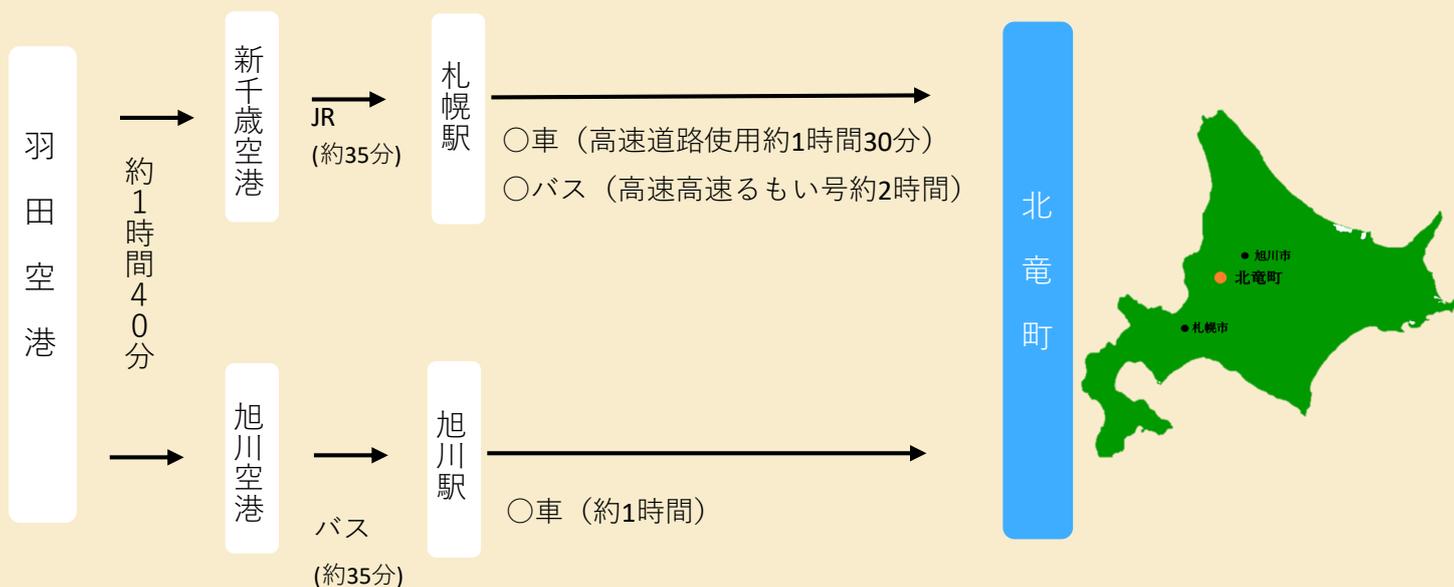
2022年（令和4年度）開設

北竜町農業研修者向け住宅

北竜町で新規就農に励む方に向けた住宅を整備しています。

家族で安心して暮らせるような住宅です。

北竜町へのアクセス



太陽の
においがする。

北竜町 新規就農



令和4年10月1日発行/編集: 北竜町役場産業課

就農に関するご相談・問い合わせ先

北竜町 産業課農業担い手係

〒078-2512 北海道雨竜郡北竜町字和1 1番地1

T E L 0164-34-2111 F A X 0164-34-2118

北竜町 HP <http://www.town.hokuryu.hokkaido.jp/>

北竜ポータル <https://portal.hokuryu.info/>

e-mail:k-sakuraba@town.hokuryu.hokkaido.jp(担当: 櫻庭)



ひまわりの見頃 7月下旬~8月中旬